

第 123 回 関西 IVR 撮影技術研究会

記

日 時：平成 30 年 9 月 8 日 (土) 14:00～

場 所：大阪市立大学医学部附属 5 階講堂
(病院地下 1 階出入口からお入りください)

交 通：各線天王寺駅より 徒歩約 8 分

参加費：会費 1000 円

★関西循環器撮影研究会は日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師認定機構(出席:1単位)、
日本救急撮影技師認定機構(出席:2ポイント)の認定団体です。



プログラム

進行役：佐々木将平 室谷和宏 高尾由範

第一部 14:00～15:00 2018 CIVIT 近畿地方会 発表演題

演題 1 画像ノイズが CT-FFR の解析結果に及ぼす影響

大阪医科大学附属病院 中央放射線部 今井 彩華 氏

演題 2 VA-ECMO(Veno-arterial Extra Corporeal Membrane Oxygenation) 導入下の

体幹部ダイナミック造影 CT 影の特徴

りんくう総合医療センター 放射線技術科 池本 達彦 氏

演題 3 大動脈 CTA 検査における contrast to noise ratio (CNR) を考慮した低管電圧撮影の検討

大阪警察病院 医療技術部 放射線技術科 増田 志郎 氏

— (休憩 10分) —

第二部 15:10～16:00 2018 JRC シンポジウム(日医放総会シンポジウム)

Management for Radiation Dose Reduction in Clinical Practice 医療被ばく低減に向けての取り組み

(国際放射線防護委員会:ICRP) Claire Cousins 委員長にお伝えした message の再現

大阪市立大学医学部附属病院 中央放射線部 市田 隆雄 氏

— (休憩 10分) —

第三部 16:10～17:30 2018 JRC / IVR 学会 発表演題

演題 4 血管塞栓術における Parametric Imaging の有用性

愛知県がんセンター中央病院 放射線診断・IVR 部 浅井 翼 氏

演題 5 Basic Study of Image Quality in Cone Beam CT for Cerebral Angiography

和歌山県立医科大学附属病院 中央放射線部 室谷 和宏 氏

演題 6 アンギオ CT による TACE navigation システムの開発:新規 CTHA 撮像法の評価

奈良県立医科大学附属病院 中央放射線部 柴田 佳祐 氏

演題 7 骨盤領域の血管塞栓術における 3D road map の有用性に関する検討

地方独立行政法人 神戸市立医療センター 中央市民病院 放射線技術部 宇草 賢二 氏

関西 IVR 撮影技術研究会活動についてのご報告

諸般事情にて HP を変更することになりました。新しい HP の URL は下記でございます。取り急ぎにご報告を申し上げます。尚、今後は研究会出席にあたっての申込みは不要でございます。近々で m3 を閉じる予定もお伝えします。

<http://plaza.umin.ac.jp/~kansai-IVR/>

ところで、前回の定例会でご挨拶していたのですが、この場でもご挨拶をさせていただきます。大阪市立大学所属の市田隆雄が、2018 年より本研究会の会長を拝命しました。この会長責は、本年 1 月 1 日以降を新たに運営するとの考え方で臨んでおります。

本研究会は永き歴史がございます。また関西はとりわけ IVR が盛んな地域との昔からの様相がございます。私の所属する大阪市立大学でも世界初 HCC への TAE 施行、本邦初の DSA 開発との歴史も重なり、私は若き頃から IVR に深く関わってきました。そのような所以、本研究会の重責を背負うことには、まさに光栄との念でございます。

当方の寄せる想いは次の通りで、所信表明は一言に限られます。

「魅力に溢れた研究会づくり」…

ご参加くださいます皆さまに、活動・活躍の糸口の提供に努力します。その活動域での手助けを特に若い世代に提供することを目指します。ご参加の皆さまにおかれては活動域を拡大いただき、個々の業績をぜひともお築ください。所属するご施設でのご活躍、患者さんの診断・治療への貢献の寄与に期待を寄せます。

ところで**第 123 回定例会は、9 月 8 日（土）**を予定しています。企画としては日本放射線技術学会、日本循環器学会、日本 IVR 学会、CVIT 近畿地方会で**研究発表された演題群から選りすぐって選抜、より濃い内容にブラッシュアップ**してご発表いただきます。一つの会場で 4 学会の選りすぐりの聴講を提供いたします。また今春 JRC では ICRP 委員長（IVR 医）をお招きしてシンポジウムが開催されました。**本邦の技師事情、IVR での放射線管理の方向性を紹介しました。そこで ICRP 委員長の目前で展開した模様を再現**させます。グローバル化の学術活動の変化もお伝えしたいので、JRC 時と同じく英語での presentation とします。ただ適宜に翻訳して日本語でも解説し、すべての皆さまへの浸透に努めます。僭越でございますが市田がその担いを務めさせていただきます。

皆さまの奮ってのご参加をお待ちしております。どうか今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

以上、伝統深き本研究会の門出についての当方挨拶とします。